

佳作

私のカナヘビ

茨城県 日立市立坂本小学校四年 八重樫 葵

四月二十四日、私は家の庭で二匹のカナヘビを見つけてきました。そして、すぐにつかまえて、ペットとして飼うことにしました。私が毎日世話をしました。水をあげたり、きりふきでしめらせたり、えさをあげたりしました。

七月十七日のこと、カナヘビが入っているケースの中をそうじしていると、三つの小さな白い卵を見つけてきました。私はとてもうれしかったです。それと同時に不安な気持ちもありました。なぜかという、ふ化に失敗するのがこわかったからです。私はインターネットでカナヘビの卵の事を詳しく調べました。まずは、卵の上の部分にしるしをつけました。それは、卵には上と下があって反対にしてしまうと呼吸ができなくなって死んでしまうからです。そして、卵を親のカナヘビのケースから別のケースに移動す

る事にしました。なぜ、移動させるかというと、親カナヘビのエサであるコオロギが卵を食べてしまうからです。私は、ドキドキしながら、しんちょうに一つずつスプーンですくって卵を移動しました。

その時の卵の大きさはたて一センチメートル、横六ミリメートルでした。

八月二十日、卵の大きさがたて一センチメートル四ミリメートル、横一センチメートル一ミリメートルになりました。大きくなっただけなあと、思っただけのケースをのぞいていました。そして、卵に黒い影のようなものがありました。そして、卵から水滴がでてきました。調べたところ、それはカナヘビのふ化の前兆のようでした。観察し始めて一時間くらいたった時のことでした。なんと、卵に切れ目ができたのです。そのすき間からは、カナヘビの口のようなものが少しだけ見えました。そして、呼吸をしているようで、ドクドクと動いていました。私は、ちゃんと生きているんだなあと、とても感動しました。ですが、カナヘビの赤ちゃんは卵から、なかなか出てきませんでした。私は心配すぎて、お昼ご飯を卵の入っているケースのとなりで食べることにしました。それでも、なかなか卵からでてきません。

卵の中の赤ちゃんが少し元気じゃなかったのも、私はお母さんと話し合いをして、手助けをすることを決めました。その方法は、卵の後ろからピンセットでしげきをあたえることです。もちろん、それにはカナヘビが死んでしまうリスクはありますが、行動を起こさないより起こす方が良いと思ったからです。軽く六回くらいしげきしてみると、ビックリしたのか卵の中からカナヘビの赤ちゃんが元気よく生まれてきました。私は生きていた中で一番感動しました。勇気をふりしぼって行動を起こして本当に良かったと思います。これからますますと成長してほしいです。